

皆様はじめまして、工業化学科二期生の小松です。私が大学院博士課程で飛び込んだ放射線生物学とこの 20 年間で急速に進展し、また私も関わった DNA 修復学の本(現代人のための放射線生物学と、その英語版)を紹介します。内容は秋田高専の授業で教わる工科系とは少し異質かもしれませんが、この二冊は私が執筆に 2 年半かけたもので、秋田高専の後輩の皆様にもきっと読

み応えがあると思います。いくつかの大学では生物医療系専攻の学部教科書として使われているようで、生物学が難しく思える章があるかもしれません。その時は物理・環境・福島原子炉事故など理解できる章、あるいは所々に挿入されているコラム 1~15 だけでも読んでもらえると嬉しいです。



教授室での近影(窓から見える空き地には近々ノーベル賞本席先生の研究棟が建設されます)

小松賢志
京都大学名誉教授
京都大学大学院生命科学研究科附属
放射線生物研究センター特任教授(2021年現在)

